

令和3年度 学校関係者評価報告書

大阪市立橋小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。昨年度より児童が落ち着いて学習に取り組むことができている。あいさつも、学校の取り組みにより自発的に行う児童が増えている。休み時間には、異学年で仲良く遊ぶ姿がよく見られる。また、ホームページや保護者メールを活用して様々な情報を発信することで、コロナ過でも学校と地域のつながりを強くなるよう努めていた。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

全市共通目標（小・中学校）

○令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

○令和3年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

○令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を、前年度より減少させる。

○令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。

学校の年度目標

○令和3年度の学校アンケートにおいて、「学校は楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

○令和3年度の学校アンケートにおいて、「自分を大切にしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

○令和3年度の学校アンケートにおいて、「すすんであいさつをする」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。

○令和3年度の学校アンケートにおいて、「学校は保護者や地域の願いを受け止めて、教育活動を進めている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を87%以上にする。

- ・達成状況の評価に関しては妥当である。生活振り返りカードの取り組みが、きまりを守ることや挨拶をすることにつながって成果をもてている。何か具体的な目標があると、児童の意識を高めやすいと感じられる。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

全市共通目標(小・中学校)

○令和３年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

○令和３年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の７割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント減少させる。

○令和３年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を２割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント増加させる。

○令和３年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

○令和３年度の全国学力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（立ち幅跳び、ソフトボール投げ）の平均の記録を、前年度より向上させる。

学校の年度目標

○令和３年度の学校アンケートにおいて、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を９２％以上にする。

○令和３年度の学校アンケートにおいて、「健康な生活を心がけている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を８７％以上にする。

・達成状況の評価に関しては妥当である。コロナ過でオンライン授業も増える中、学校が授業を工夫することで、児童の学習意欲が高まっていると感じた。

3 今後の学校園の運営についての意見

・コロナ過で制限ある活動の中、急な対応も多く大変だったと思うが、できる限り、児童や保護者、地域の願いがかなえられるように工夫して日々の学習や行事に取り組んでいた。今後ともよろしく願いしたい。